

検 算	設 計
-----	-----

--	--

令和 7 年 度

第 1 2 1 号 配 水 小 管 改 良 工 事 設 計 書

工 事 番 号	令和7年度 第121号	施 工 年 度	令和7年度
工 事 名 称	第121号 配水小管改良工事		
工 事 場 所	桐生市梅田町二丁目地内(中屋橋付近)		
工 事 日 数	120日	工事概要 HPP φ 50配水小管改良 L= 196m 給水切替 8箇所 舗装復旧 540m2	
担 保 期 間	2年間		
路 線 名	桐生田沼線・市道40106・40109		
工 事 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
工 事 期 間			
部 課 名	水道局工務課		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
		HPP φ 50配水小管改良		式	1			第 1号内訳書
	小計							
		給水切替		式	1			第 2号内訳書
	小計							
		舗装復旧		式	1			第 3号内訳書
	小計							
		安全費		式	1			第 4号内訳書
	小計							
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		技術管理費		式	1			第 5号内訳書
		共通仮設費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

[illegible]

間 接 工 事 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	開削工事及び小口径推進等	工事日数(内冬日数)		共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響あり②	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

共 通 仮 設 費 = 対象額×率
= × %
=

対象額 = 直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費－特殊製品費/2－共通仮設積上(特殊製品費)/2－支給品費(特殊製品費)/2
= ＋ ＋ － － ＋ － － －
=

率 = 対象額による率×地域補正係数
= %×
= %× → ∴ %

対象額による率 = %

現 場 管 理 費 = 対象額×率
= × %
=

対象額 = 純工事費-現場対外額+支給品費-特殊製品費/2-共通仮設積上(特殊製品費)/2-支給品費(特殊製品費)/2-処分除外費
= － ＋ － － －
=

率 = 対象額による率×地域補正係数
= %×
= %× → ∴ %

対象額による率 = %

間 接 工 事 明 細 書

算

出

基

礎

一 般 管 理 費 = 対象額×率+対象額×契約保証補正值－調整額
= × % + × %－
=

対象額 = 工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
= － － ＋
=

率 = 対象額による率×前払補正
= %×
= %× → ∴ %

対象額による率 = %

第 1号		HPP φ 50配水小管改良					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
ポリエチレン管 直管 EF受口付直管	φ 50 JW	本	36					
フレキシブル継手 袋ナット×PE挿し口	φ 50×1000	個	2					
ポリエチレン管 直管 フレソメント	φ 50 JW	本	2.4					
CIPサドル分水栓 ミリサイズ	φ 100×50	個	1					
CIPサドル分水栓 ミリサイズ	φ 150×50	個	1					
EF片受けベント	φ 50×22 1/2°	個	1					
EF片受Sベント	φ 50×450H	個	2					
EFチース 両受	φ 50	個	1					
EFソケット	φ 50 JW	個	4					
ボール式乙止水栓	φ 50	個	4					
止水栓筐	SB-150 H700	個	4					
EF変換ソケット メータ用 JW	φ 50	個	7					
HIVPシモク	φ 50	個	1					

第 1号				1式当たり		内訳書	
HPP φ 50配水小管改良							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
給水切替工（V P 接合）	φ 20	箇所	1			第 1号単価表	
給水切替材料費（HIVP継手類）	φ 20	箇所	1			第 5号単価表	
ガイドナット	φ 50	個	1				
分水栓用キャップ	φ 50	個	1				
ポリエチレン管(融着接合)据付工	呼び径 5 0	m	196. 3			第 6号単価表	
ポリエチレン管(融着接合)継手工	呼び径 5 0、1 口継手	口	46			第 7号単価表	
ポリエチレン管(融着接合)継手工	呼び径 5 0、2 口継手	箇所	5			第 8号単価表	
ポリエチレン管切断	呼び径 5 0	口	6			第 9号単価表	
溶剤浸透防護スリーブ被覆工	呼び径 7 5 以下、粘着テープの場合	m	196. 3			第 10号単価表	
管明示シート工		m	196. 3			第 11号単価表	
サドル分水栓建込み	給水管50mm× 鋳鉄管150mm	箇所	1			第 12号単価表	
止水栓取付け（P P 用）	呼び径 5 0 mm	箇所	4			第 13号単価表	

第 1号				1式当たり		内訳書	
HPP φ 50配水小管改良							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
サドル分水栓建込み	給水管50mm×铸铁管100mm	箇所	1			第 14号単価表	
小口径管ねじ込み接合	呼び径 5 0	口	1			第 15号単価表	
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	18				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	314				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要	m ²	5				
	舗装版厚:15cmを超え40cm以下						
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm 超15cm以下		m ²	5			第 16号単価表	
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm 以下		m ²	115			第 17号単価表	
小型バックホウ掘削積込		m3	112			第 18号単価表	
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ)		m3	54			※山砂 第 19号単価表	
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ)		m3	1			※発生土 第 20号単価表	
発生土処理(土砂、DIDあり)	L=5km	m3	112			第 21号単価表	

第 1号		HPP φ 50配水小管改良					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
発生土処理(A s 塊、DIDあり)	L=15km	m3	6			第 22号単価表		
下層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=30cm、施工層数=2	m ²	3			第 23号単価表		
下層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=60cm、施工層数=3	m ²	5			第 24号単価表		
下層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=40cm、施工層数=2	m ²	112			第 25号単価表		
上層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=17cm、施工層数=2	m ²	3			第 26号単価表		
上層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=8cm、施工層数=1	m ²	112			第 27号単価表		
上層路盤工	施工幅1.8m未満、施工厚=25cm、施工層数=2	m ²	5			第 28号単価表		
アスファルト舗装工(車道及び路肩)	1層当り、t ≤50mm (t=30mm)、	m ²	115			第 29号単価表		
アスファルト舗装工(車道及び路肩)	1層当り、t ≤50mm (t=50mm)、	m ²	5			第 30号単価表		
計								

第 2号				1式当たり			内訳書
給水切替							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
水道用ポリエチレン管二層管 1種	φ 20	m	12.6				
水道用ポリエチレン管二層管 1種	φ 25	m	1.3				
フレキシブル継手 袋ナット×平行おねじ	φ 20×600	個	6				
PEPサドル分水栓 ミリサイズ	φ 50×20	個	6				
PEPサドル分水栓 ミリサイズ	φ 50×25	個	1				
コア一体型ユニオンソケット	φ 20	個	6				
コア一体型ユニオンエルボ	φ 20	個	6				
コア一体型エルボ	φ 20	個	6				
ボール式乙止水栓	φ 20	個	6				
ボール式乙止水栓	φ 25	個	1				
止水栓筐	SB-100 H500	個	6				
止水栓筐	SB-150 H700	個	1				

第 2号		給水切替					1式当たり	内訳書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管据付工		呼び径 2 0		m	12. 6			第 31号単価表
小口径管布設(人力)据付工		呼び径 2 0		m	3. 6			第 32号単価表
小口径管布設(人力)据付工		呼び径 2 5		m	1. 1			第 33号単価表
ポリエチレン管切断		呼び径 2 0		口	12			第 34号単価表
小口径管ねじ込み接合		呼び径 2 0		口	30			第 35号単価表
サドル分水栓建込み		給水管20mm×ポリエチレン管50mm		箇所	6			第 36号単価表
サドル分水栓建込み		給水管25mm×ポリエチレン管50mm		箇所	1			第 37号単価表
止水栓取付け(P P用)		呼び径 2 0 mm		箇所	6			第 38号単価表
止水栓取付け(P P用)		呼び径 2 5 mm		箇所	1			第 39号単価表
給水切替材料費 (HIVP継手類)		φ 20		箇所	6			第 5号単価表
給水切替材料費 (HIVP継手類)		φ 25		箇所	1			第 40号単価表
給水切替工 (V P接合)		φ 20		箇所	6			第 1号単価表
給水切替工 (V P接合)		φ 25		箇所	1			第 41号単価表

第 2号		1式当たり					内訳書
給水切替							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ポリエチレンスリーブ被覆工	呼び径 5 0、粘着テープの場合	m	17. 5			第 45号単価表	
管明示シート工		m	10. 3			第 11号単価表	
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	21				
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		m ²	6			第 17号単価表	
小型バックホウ掘削積込		m3	7			第 18号単価表	
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ)		m3	3			第 19号単価表	
発生土処理(土砂、DIDあり)	L=5km	m3	7			第 21号単価表	
発生土処理(A s 塊、DIDあり)	L=15km	m3	0. 2			第 22号単価表	
下層路盤工	施工幅1. 8m未満、施工厚=40cm、施工層数=2	m ²	6			第 25号単価表	
上層路盤工	施工幅1. 8m未満、施工厚=8cm、施工層数=1	m ²	6			第 27号単価表	
アスファルト舗装工(車道及び路肩)	1 層当り、t ≤50mm (t=30mm)、	m ²	6			第 29号単価表	

第 2号

1式当たり

内訳書

給水切替

[illegible]

第 3号		舗装復旧					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	212					
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	14					
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要	m ²	28					
	舗装版厚:15cmを超え40cm以下							
舗装版直接掘削・積込、舗装厚10cm以下		m ²	214			第 17号単価表		
発生土処理(A s 塊、DIDあり)	L=15km	m3	12			第 22号単価表		
上層路盤（車道・路肩部）	材料:瀝青安定処理材(40) 平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:100	m ²	28					
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3							
不陸整正工	施工幅1.8m未満、1 層当り	m ²	214			第 46号単価表		
不陸整正工	施工幅1.8m以上、1 層当り	m ²	28			第 47号単価表		
基層（車道・路肩部）	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:50 材料:再生粗粒度アスコン(20)	m ²	28					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4							
表層（車道・路肩部）	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:再生密粒度アスコン(13)	m ²	6					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 7号		ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 5 0、1 口継手					1口当たり	単価表	
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配管工				人					
普通作業員				人					
諸雑費				式	1				
計									

[illegible]

[illegible]

第 10号				溶剤浸透防護スリーブ被覆工			100m当たり		単価表	
呼び径 7 5 以下、粘着テープの場合										
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
配管工				人						
普通作業員				人						
溶剤浸透防護スリーブ（ポリエチレン管用）		φ 50		m	120					
防蝕テープ		7 5mm×1 0 m		巻	5.1					
諸雑費				式	1					
計										
1 m 当たり										

[illegible]

第 12号				サドル分水栓建込み			1箇所当たり		単価表		
給水管50mm×铸铁管150mm											
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要			
配管工				人							
普通作業員				人							
諸雑費				式	1						
計											

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 19号		管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ)					100m3当たり	単価表					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
土木一般世話役				人									
普通作業員				人									
小型バックホウ運転費		クローラ型		日		1.538							
普通作業員				人									
タンパ運転費				日		3							
石材		山砂(クッション用)		m3		126							
諸雑費				式		1							
計													
1 m3当たり													

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 29号				100㎡当たり			単価表		
アスファルト舗装工(車道及び路肩)									
1 層当り、t ≤50mm (t=30mm)、									
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役				人					
特殊作業員				人					
普通作業員				人					
再生アスコン		再生密粒度(13)		t	7.544				
振動ローラ運転費		ハンドガイド式		日	0.4				
振動コンパクト運転費				日	0.8				
諸雑費				式	1				
計									
1 ㎡当たり									

第 30号		100㎡当たり					単価表						
アスファルト舗装工(車道及び路肩)													
1 層当り、t ≤50mm (t=50mm)、													
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
土木一般世話役				人									
特殊作業員				人									
普通作業員				人									
再生アスコン		再生密粒度(13)		t		12.573							
振動ローラ運転費		ハンドガイド式		日		0.4							
振動コンパクタ運転費				日		0.8							
諸雑費				式		1							
計													
1 ㎡当たり													

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 41号		給水切替工（V P 接合） φ 25					1箇所当たり	単価表				
名	称	規	格	単 位	数	量	単	価	金	額	摘	要
硬質塩化ビニル管 据付工		呼び径 2 5		m	1						第 42号単価表	
硬質塩化ビニル管切断		呼び径 2 5		口	2						第 43号単価表	
硬質塩化ビニル管 T S 継手工		呼び径 2 5		口	8						第 44号単価表	
計												

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 49号		通水試験（φ 800以下に適用） 給水車不要、1日平均試験距離L=2000m					2,000m当たり	単価表					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
通水試験（φ 800以下に適用）		既設管と連絡して給水車が不要の場合		日		1						第 50号単価表	
計													
1 m当たり													

第 50号		通水試験（φ 800以下に適用）					1日当たり	単価表
既設管と連絡して給水車が不要の場合								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工				人				
普通作業員				人				
諸雑費及器具損料				式	1			
計								

			A-A3型		A-A4型		B-B810+県道
総延長	195.92	m	4.8100	+	118.21	+	72.90
給水切替	8	箇所	0		5		3
舗装復旧	539.9	m ²					

給水管 布設土工

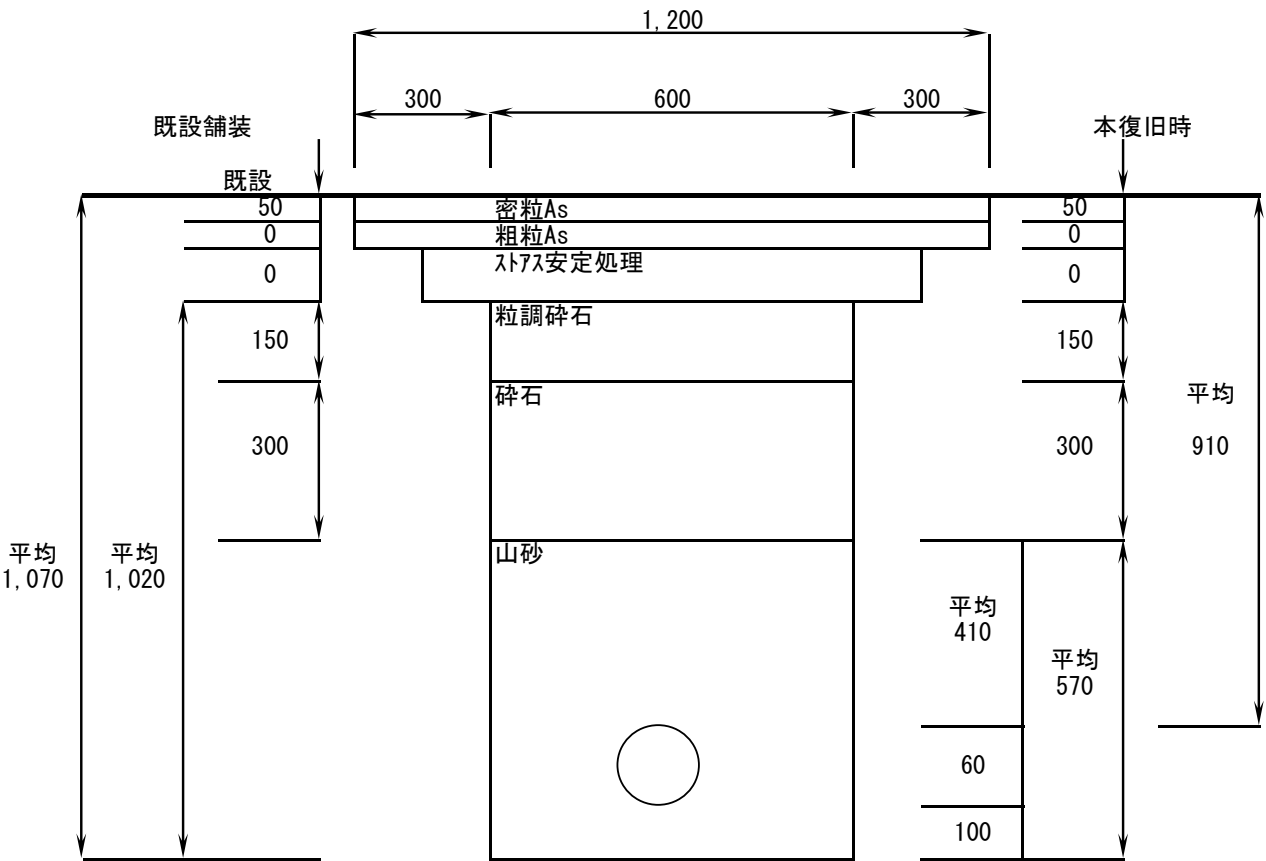
本復旧

	A-A3型	A-A4型	B-B4型	県道取出	給水切り替えA A	給水切り替えB B'					
舗装版切断	9.62	+	118.21	+	67.90	+	10.80	+	5.60	212.1	m
舗装版切断		+		+		+	14.00	+		14.0	m
舗装版掘削	5.77	+	141.85	+	61.11	+	3.42	+	1.77	213.9	m
舗装版掘削		+		+		+	28.00	+		28.0	m
As運搬工	0.23	+	4.96	+	2.04	+	4.91	+	0.11	12.3	m
本舗装(安定ストア)		+		+		+	28.00	+		28.0	m
本舗装(基層)		+		+		+	28.00	+		28.0	m
本舗装(表層)5	5.77	+		+		+		+		5.8	m
本舗装(表層)4		+	141.85		61.11	+	3.42	+	1.77	208.2	m
本舗装(表層)10		+		+		+	28.00	+		28.0	m
不陸整正(1.8以下)	5.77	+	141.85	+	61.11	+	3.42	+	1.77	213.9	m
不陸整正(1.8以上)		+		+		+	28.00	+		28.0	m
		+		+		+		+			m

H P P φ 50 mm 掘削断面図

市道 A-A' 3型

平均土被り 0.91 m 管外径 6 cm のみ入力
 施工延長 4.81 m



H P P φ 50 布設土工

					合計
舗装版切断	4.81	×	2	=	9.62 m
舗装版掘削	4.81	×	0.60	=	2.89 m ²
掘削工	4.81	×	0.60 × 1.02	=	2.94 m ²
埋戻工(山砂)	(	0.60 × 0.57 - $\frac{\pi}{4} \times 0.06^2$) × 4.81	=	1.63 m ³	
残土運搬	4.81	×	0.60 × 1.02	=	2.94 m ³
As運搬工	2.89	×	0.05	=	0.14 m ³
下層路盤工 30 cm	4.81	×	0.60	=	2.89 m ²
上層路盤工 17 cm	4.81	×	0.60	=	2.89 m ²
仮舗装 3 cm	4.81	×	0.60	=	2.89 m ²
本復旧 5 cm	4.81	×	1.20	=	5.77 m ²
As運搬工	4.81	×	0.60 × 0.05 + 2.89 × 0.03	=	0.23 m ³

No.	延長	土被り	掘削深	平均深	土工量
0		1.20	1.21		
1	1.00	1.20	1.21	1.210	1.210
2	0.72	0.80	0.81	1.010	0.727
3	3.09	0.80	0.81	0.810	2.503
4					0.000
5					0.000
計	4.81				4.440

平均	
掘削深(管下)	0.92 m
埋戻土厚(管上)	0.41 m

H P P φ 50 mm 掘削断面図

市道 A-A' 4型

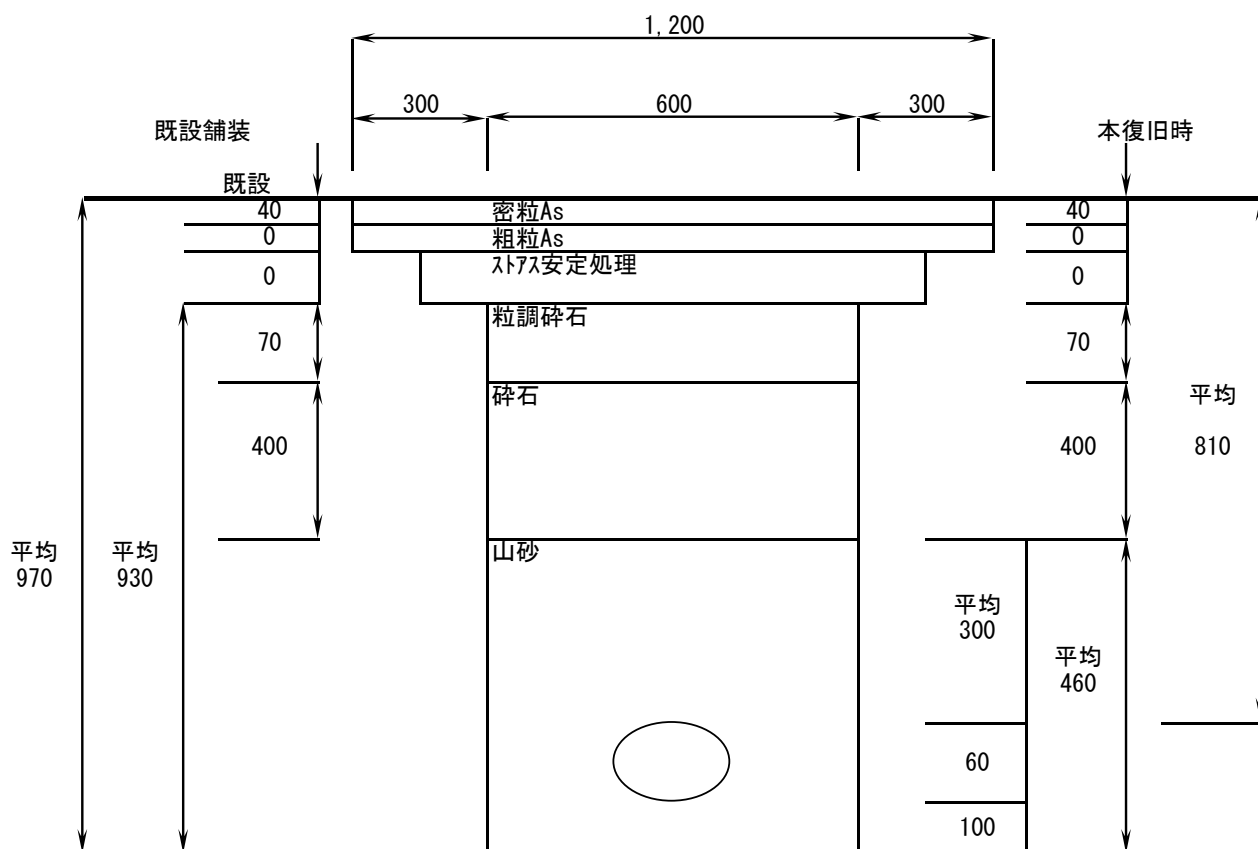
平均土被り
施工延長

0.81 m
118.21 m

管外径

6 cm

のみ入力



H P P φ 50 布設土工

					合計
舗装版切断	118.21	×	2	=	236.42 m
舗装版掘削	118.21	×	0.60	=	70.93 m ²
掘削工	118.21	×	0.60 × 0.93	=	65.96 m ²
埋戻工(山砂)	$(0.60 \times 0.46 - \frac{\pi}{4} \times 0.06^2) \times 118.21$				= 32.29 m ³
残土運搬	118.21	×	0.60 × 0.93	=	65.96 m ³
As運搬工	70.93	×	0.04	=	2.84 m ³
下層路盤工 40 cm	118.21	×	0.60	=	70.93 m ²
上層路盤工 8 cm	118.21	×	0.60	=	70.93 m ²
仮舗装 3 cm	118.21	×	0.60	=	70.93 m ²
本復旧 4 cm	118.21	×	1.20	=	141.85 m ²
As運搬工	118.21	×	0.60 × 0.04 + 70.93 × 0.03	=	4.96 m ³

No.	延長	土被り	掘削深	平均深	土工量
0		0.81	0.83		
1	118.21	0.81	0.83	0.830	98.114
2					0.000
3					0.000
4					0.000
5					0.000
計	118.21				98.110

平均	
掘削深(管下)	0.83 m
埋戻土厚(管上)	0.30 m

H P P φ 50 mm 掘削断面図

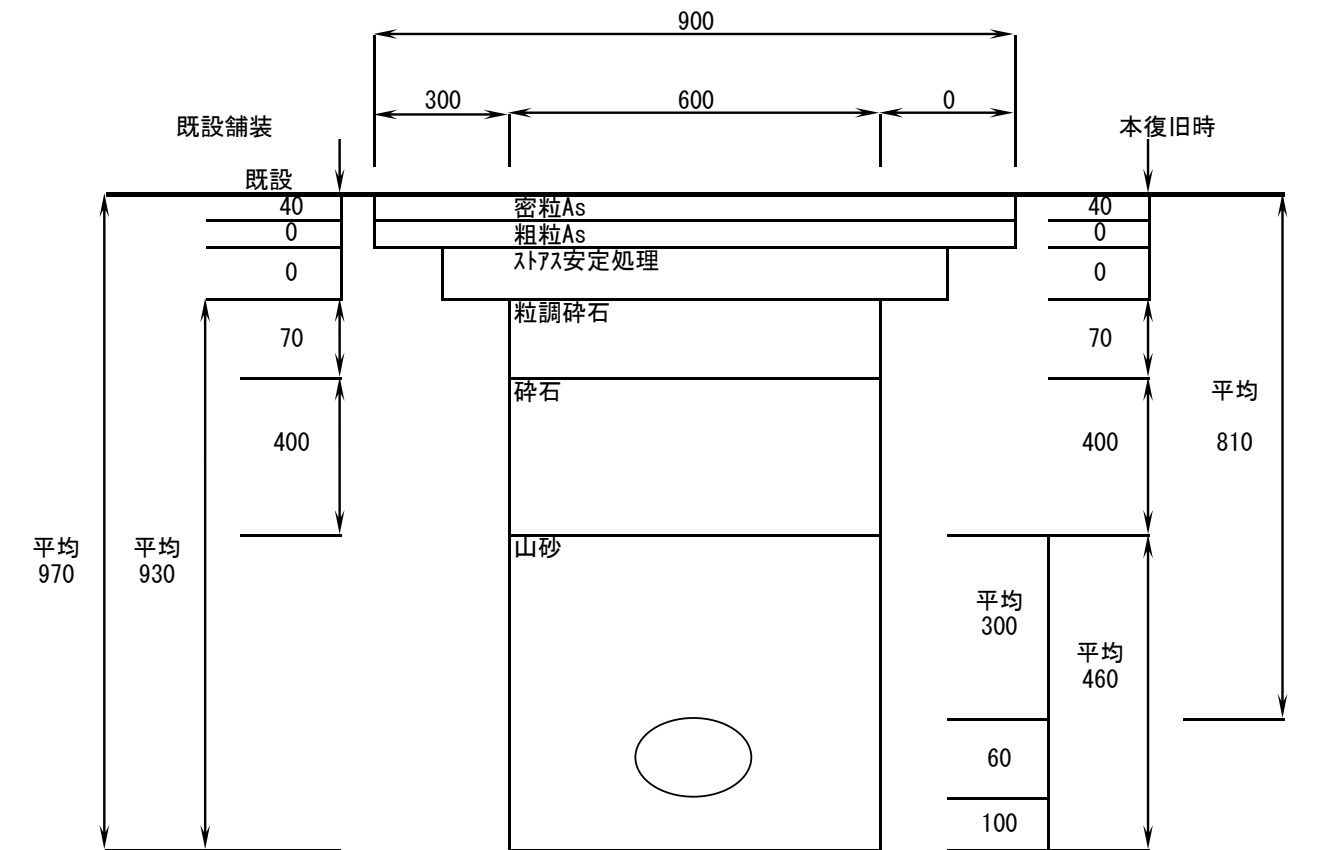
市道
B-B' 4型

平均土被り
施工延長

0.81 m
67.90 m

管外径
6 cm

のみ入力



H P P φ 50 布設土工

					合計
舗装版切断	67.90	×	1	=	67.90 m
舗装版掘削	67.90	×	0.60	=	40.74 m ²
掘削工	67.90	×	0.60 × 0.93	=	37.89 m ²
埋戻工 (山砂)	$(0.60 \times 0.46 - \frac{\pi}{4} \times 0.06^2) \times 67.90$				= 18.55 m ³
残土運搬	67.90	×	0.60 × 0.93	=	37.89 m ³
As運搬工	40.74	×	0.04	=	1.63 m ³
下層路盤工 40 cm	67.90	×	0.60	=	40.74 m ²
上層路盤工 8 cm	67.90	×	0.60	=	40.74 m ²
仮舗装 3 cm	67.90	×	0.60	=	40.74 m ²
本復旧 (表層) 4 cm	67.90	×	0.90	=	61.11 m ²
As運搬工	67.90	×	0.30 × 0.04 + 40.74 × 0.03	=	2.04 m ³

No.	延長	土被り	掘削深	平均深	土工量
0		0.81	0.83		
1	67.18	0.81	0.83	0.830	55.759
2	0.72	1.20	1.22	1.025	0.738
3					0.000
4					0.000
5					0.000
計	67.90				56.500

平均	
掘削深 (管下)	0.83 m
埋戻土厚 (管上)	0.30 m

H P P φ 50 mm 掘削断面図

県道 取り出し

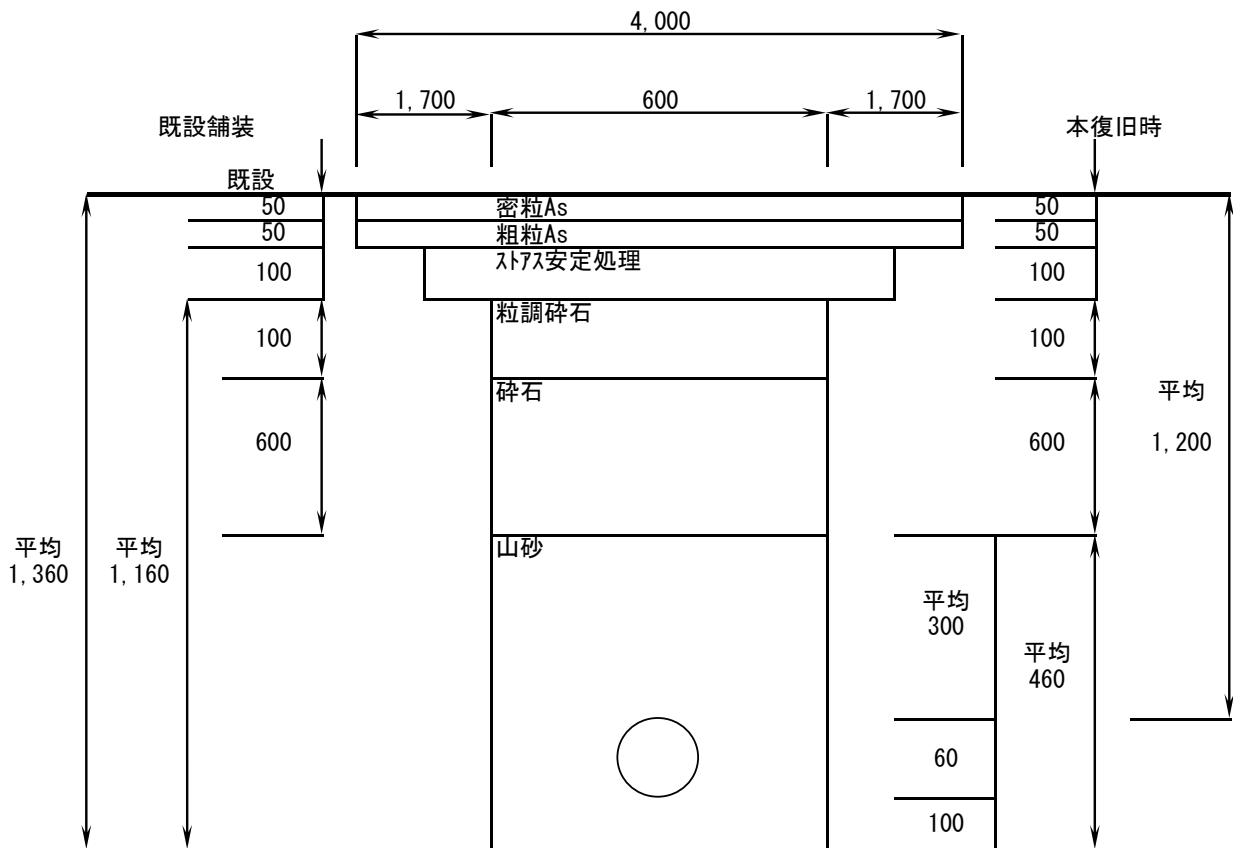
平均土被り
施工延長

1.20 m
5.00 m

管外径

6 cm

のみ入力



H P P φ 50 布設土工

				合計
舗装版切断	5.00	×	2	= 10.00 m
舗装版掘削	5.00	×	0.60	= 3.00 m ²
掘削工	5.00	×	0.60 × 1.16	= 3.48 m ²
埋戻工(山砂)	$(0.60 \times 0.46 - \frac{\pi}{4} \times 0.06^2) \times 5.00$			= 1.37 m ³
残土運搬	5.00	×	0.60 × 1.16	= 3.48 m ²
As運搬工	3.00	×	0.20	= 0.60 m ²
下層路盤工 60 cm	5.00	×	0.60	= 3.00 m ²
上層路盤工 25 cm	5.00	×	0.60	= 3.00 m ²
仮舗装 5 cm	5.00	×	0.60	= 3.00 m ²

本復旧(安定ス)	10 cm	7.00	×	4.00	= 28.00 m ²
本復旧(基層)	5 cm	7.00	×	4.00	= 28.00 m ²
本復旧(表層)	5 cm	7.00	×	4.00	= 28.00 m ²
As運搬工		7.00	×	3.40 × 0.20 + 3.00 × 0.05	= 4.91 m ²

No.	延長	土被り	掘削深	平均深	土工量
0		1.20	1.06		
1	5.00	1.20	1.06	1.060	5.300
2					0.000
3					0.000
4					0.000
5					0.000
計	5.00				5.300

平均

掘削深(管下)	1.06 m
埋戻土厚(管上)	0.30 m

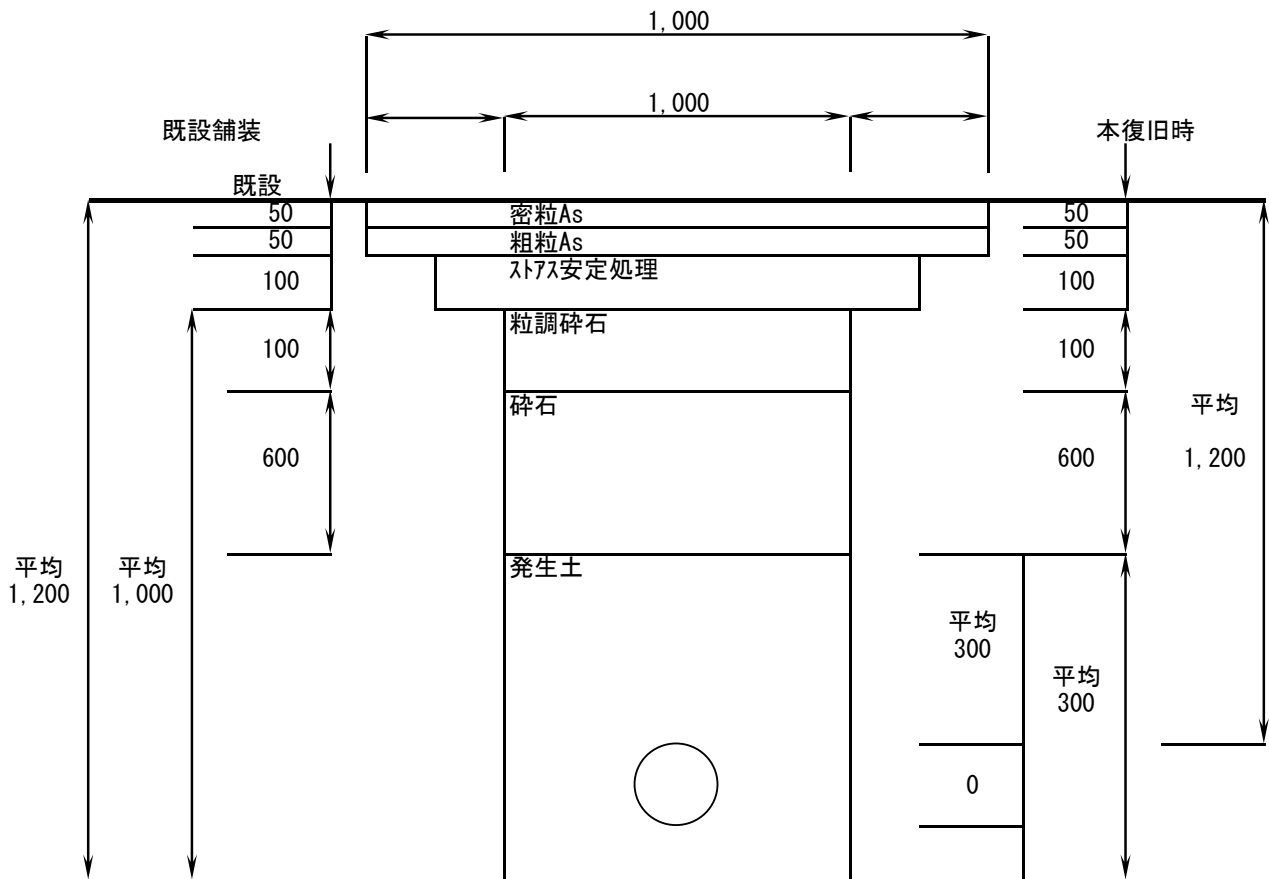
県道
分水止

平均土被り
施工延長

1. 20 m
2. 00 m

管外径 0 cm

のみ入力



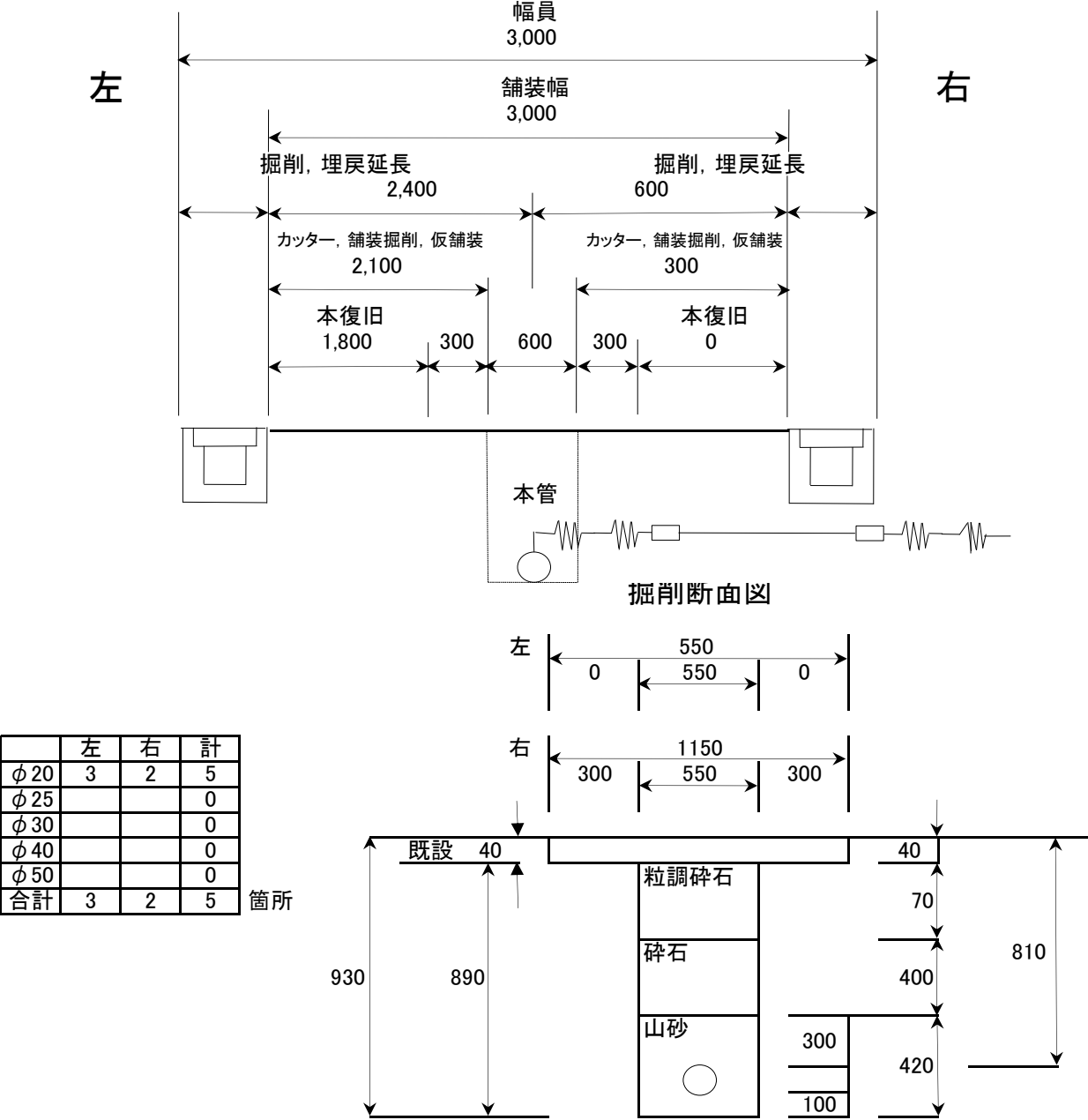
DIP ϕ 150 布設土工

				合計
舗装版切断		2.00 × 4	=	8.00 m
舗装版掘削		2.00 × 1.00	=	2.00 m ²
掘削工		2.00 × 1.00 × 1.00	=	2.00 m ³
埋戻工(発生土)		(1.00 × 0.30 - $\frac{\pi}{4} \times 0.00^2$) × 2.00	=	0.60 m ³
残土運搬		2.00 - 0.60 / 0.90	=	1.33 m ³
As運搬工		2.00 × 0.20	=	0.40 m ³
下層路盤工	60 cm	2.00 × 1.00	=	2.00 m ²
上層路盤工	25 cm	2.00 × 1.00	=	2.00 m ²
仮舗装	5 cm	2.00 × 1.00	=	2.00 m ²

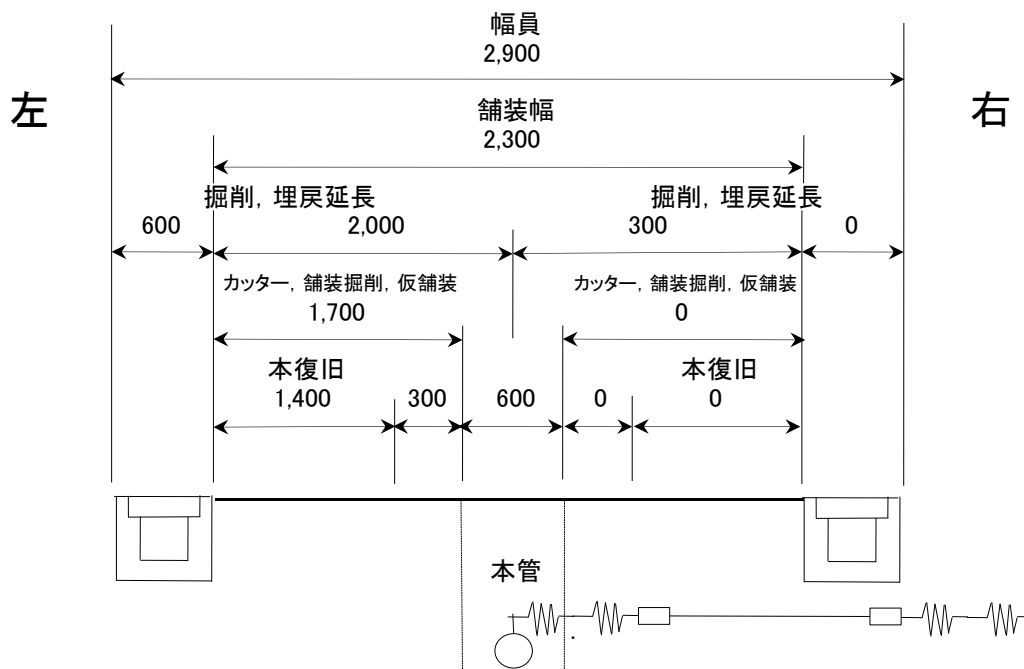
No.	延長	土被り	掘削深	平均深	土工量
0		1.20	1.00		
1	2.00	1.20	1.00	1.000	2.000
2					0.000
3					0.000
4					0.000
5					0.000
計	2.00				2.000

平均	
掘削深(管下)	1.00 m
埋戻土厚(管上)	0.30 m

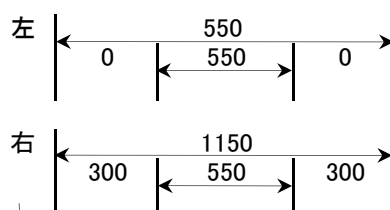
A-A' PE 給水管土工 市道給水



市道給水

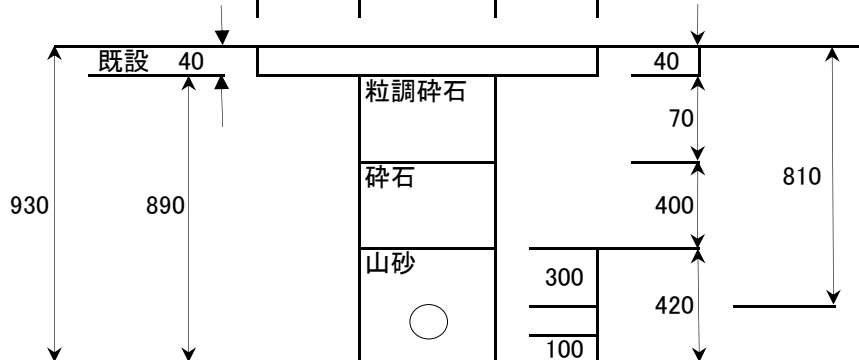


掘削断面図



	左	右	計
$\phi 20$	2		2
$\phi 25$		1	1
$\phi 30$			0
$\phi 40$			0
$\phi 50$			0
合計	2	1	3

箇所



給水切替 3 箇所													合計									
舗装版切断		1.70	×	2.00	×	2	+	0	×	2.00	×	1	6.80 m									
舗装版掘削		1.70	×	0.55	×	2	+	0.00	×	0.55	×	1	1.87 m ²									
道路掘削		((	0.60	+	2.00	)	×	2	+	((	0.00	+	0.30	)	×	1	)	×	0.89	×	0.55	2.69 m ³
埋戻(山砂)		((	0.60	+	2.00	)	×	2	+	((	0.00	+	0.30	)	×	1	)	×	0.42	×	0.55	1.27 m ³
残土		((	0.60	+	2.00	)	×	2	+	((	0.00	+	0.30	)	×	1	)	×	0.89	×	0.55	2.69 m ³
As運搬		1.87	×	0.04									0.07 m ³									
下層路盤	40	(	1.70	×	2	+	0.00	×	1	)	×	0.55	1.87 m ²									
上層路盤	8	(	1.70	×	2	+	0.00	×	1	)	×	0.55	1.87 m ²									
仮舗装	3	(	1.70	×	2	+	0.00	×	1	)	×	0.55	1.87 m ²									
本復旧																						
舗装版切断		1.40	×	2	×	2	+	0.00	×	2	×	1.00	5.60 m									
本復旧	4	1.40	×	2	×	0.55	+	0.00	×	1	×	1.15	1.77 m ²									
As運搬		(	0.00	×	1.40	×	2	+	0.60	×	0.00	×	1	)	×	0.04	+	1.87	×	0.03	0.06 m ³	

施工条件の明示

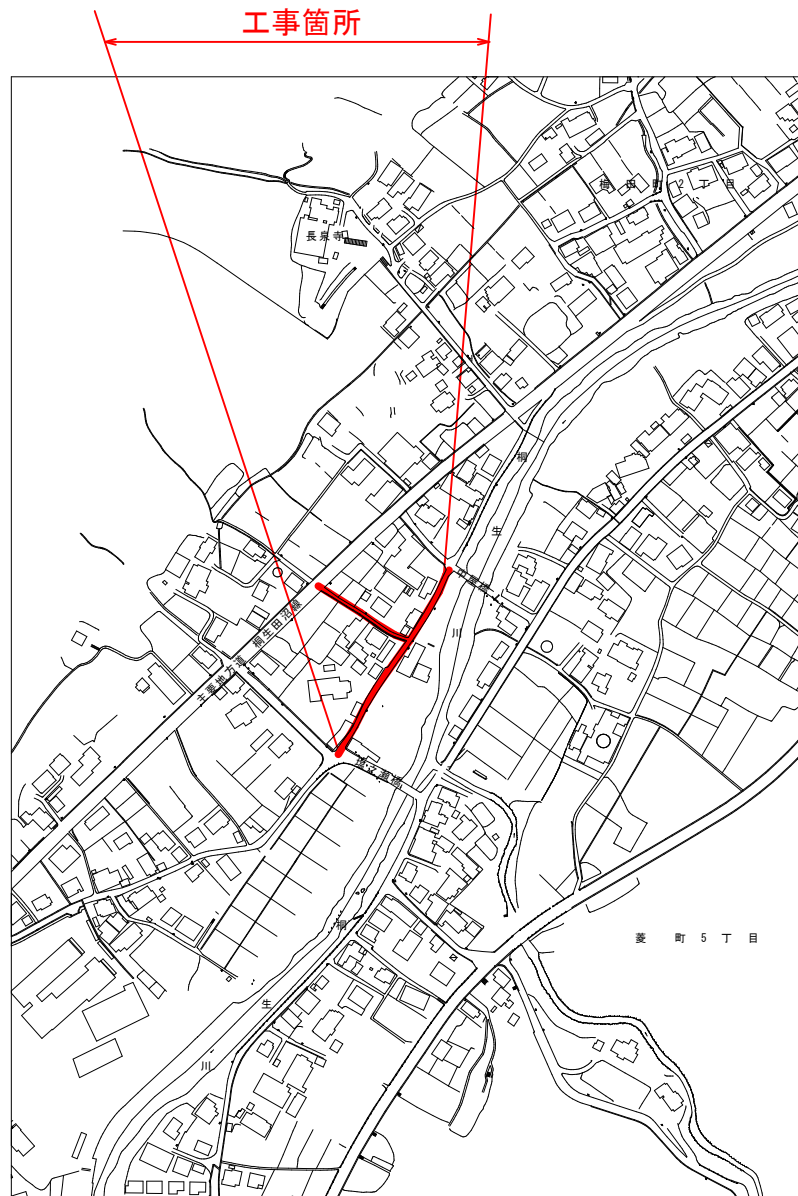
工 事 名：配水小管改良工事
工 事 場 所：桐生市梅田町二丁目地内（中屋橋付近）

明 示 関 係	明 示 事 項
工 程 関 係	・ 関係機関・地権者と協議し、円滑に工事が進むように努めること。 ・ 本工事は 県道・市道 を 片側交互通行及び一部車両通行止 の交通規制で行うものとする。 ・ 実施にあたり、施工計画書を提出し、承諾を得ること。
用 地 関 係	特になし
公 害 対 策 関 係	・ 掘削にあたり関係法令等を遵守するのはもちろんのこと、近隣家屋等について、振動・騒音等は十分に配慮し、施工を行うこと。
安 全 対 策 関 係	・ 本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着工後原則として作業員全員の参加により月あたり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全訓練等を実施するものとする。 (1) 安全活動のビデオ等鑑賞資料による安全教育 (2) 安全工事内容等の周知徹底 (3) 労働安全衛生法、労働基準法、労働安全規則、建設工事公衆災害防止対策要綱等の周知徹底 (4) 本工事における災害対策訓練 (5) 本工事現場で予想される事故対策 (6) その他、安全・訓練等として必要な事項 ・ 本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。 ・ 安全・訓練等の実施状況を写真等に記録し報告するものとする。 ・ 本工事箇所が通学路になっている場合は、関係機関と打ち合わせを行うものとする。 ・ 交通誘導員は30人を計上している。 ・ 掘削面の高さが1.5mを超える際は、地山の掘削及び土止め支保工の作業主任者を配置し、土留めを行うこと。
工 事 用 道 路 関 係	特になし
仮 設 備 関 係	特になし
残 土 ・ 産 業 廃 棄 物 関 係	・ 本工事から発生する残土の処分地は、監督員と協議して確定するものとする。 （運搬距離は5kmを想定している） ・ 建設発生土を100m3を超えて搬出する場合は、「建設工事必携」による「建設発生土の運搬先への情報提供」に基づき、搬出先市町村に情報提供を行う。 ・ アスファルト廃材は再生アスファルト工場へ搬入すること。 （運搬場所は 足利市小俣町地内（運搬距離L=15km）を想定している） なお、運搬に先立ち受入条件等を確認し、監督員と協議して確定するものとする。 ・ 建設廃材の処理については、「建設工事必携」による建設副産物適正処理推進要綱に基づき処理すること。 ・ 本工事は建設副産物実態調査の対象工事であるので、再生資源利用計画（実施）書（および再生資源利用促進計画（実施）書）について、COBRIS登録により登録証明書を監督員に提出すること。なお、COBRIS登録をしていない場合は、再生資源利用計画（実施）書（および再生資源利用促進計画（実施）書）について、電子データ及び出力票を監督員に提出すること。 ・ 舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じりあった排水（以下「排水」という。）については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収すること。回収された排水については、産業廃棄物として、適正に処理すること。なお、適正な処理をするために必要な運搬費及び処分費については、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。なお、受注者は、当該処理に係るマニフェストについて、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。
工 事 支 障 物 件 関 係	・ 施工箇所に埋設物がある場合、破損させないように充分注意すること。 ・ 既設埋設管として、 水道管 ・ 下水管 ・ ガス管 が存在しているため、着工前に試掘調査を行うものとする。
塩 化 物 ・ アル 骨 反 応 対 策 関 係	特になし
そ の 他	・ 本工事は、群馬県土木工事標準仕様書及び建設工事必携を遵守すること。 ・ 別紙共通事項による。

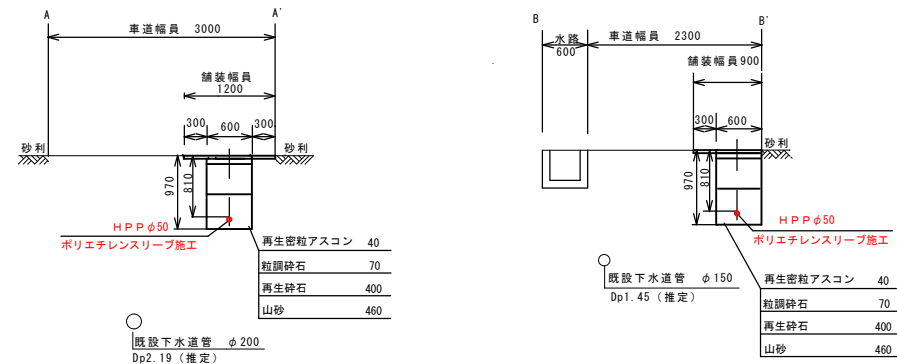
共 通 事 項

1. 有資格者の配置	配水管工事従事者の 資格要件	① 水道配水用ポリエチレン管の配水管工事の際、元請業者の現場代理人、主任技術者、監理技術者又は配管工事従事者のいずれかに資格を有する者を配置するものとし、配水管布設中は有資格者が施工管理を行うこと。 (有資格者とは、水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証又はメーカー主催の施工講習会修了証を所有する者とする。) ② NS・GX形ダクタイル鋳鉄管(φ450mm以下)の配水管工事の際、元請業者の現場代理人、主任技術者、監理技術者又は配管工事従事者のいずれかに資格を有する者を配置するものとし、配水管布設中は有資格者が施工管理を行うこと。 (有資格者とは、日本ダクタイル鉄管協会の継手接合研修会受講証NS形(φ450以下)又は(社)日本水道協会の配水管技能者登録証(一般継手・耐震継手)を所有するものとする。) ③ NS形ダクタイル鋳鉄管(φ500mm以上)の配水管工事の際、元請業者の現場代理人、主任技術者、監理技術者又は配管工事従事者のいずれかに資格を有する者を配置するものとし、配水管布設中は有資格者が施工管理を行うこと。 (有資格者とは、日本ダクタイル鉄管協会の継手接合研修会受講証NS形(φ500以上)又は(社)日本水道協会の配水管技能者登録証(大口徑)を所有するものとする。)
2. 工事の監督	技術者による 布設工事の監督	・ 工事の材料検査・管布設指導監督・水圧試験・洗管作業は、監督員に従い、誠実かつ適正に施工しなければならない。
3. 工事実績の登録	工事カルテ	① 請負者は、受注時または変更時において工事請負金額が500万円以上の工事について、実績報告システム（CORINS）に基づき(財)日本建設情報総合センター（JACIC:ジャシック）に登録しなければならない。 ② 工事請負金額が500万円以上の工事にあつては、工事受注・変更・完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に(財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
4. 工事等	管路の操作	・ 工事の施工にあたり断減水、通水洗管作業を行う時は、事前に監督員と十分な打合せを行い、事業所及び住民等に日時（時間帯）を事前に連絡し、工事に対する理解を求めて施工すること。 ・ 給水管接続替作業については所有者または使用者に了解を求めてから施工すること。
	バルブの開閉操作	・ 請負業者は、仕切弁等の開閉作業をしてはならない。ただし監督員との事前協議の上、監督員の指示に基づき開閉操作をすることができる。
5. 舗装工事に係る品質管理について	路盤密度の測定	・ 1,000㎡以上の工事については建設工事必携の品質管理基準のとおりとする。 ・ 1,000㎡未満の工事については1箇所測定すること。 ・ 測定位置は監督員の指定した位置とする。
	舗装コアの抜き取り 表層密度の測定	舗装平積 ・ 1,000㎡未満 <u>1箇所以上</u> ・ 1,000㎡以上2,000㎡未満 <u>2箇所以上</u> ・ 2,000㎡以上 <u>3箇所以上</u> * なお、10,000㎡以上について建設工事必携の検査基準のとおりとする。 * 検査の位置指定は無作為指定位置とする。 * 上記を原則とするが、これによりがたい場合は別途協議すること。

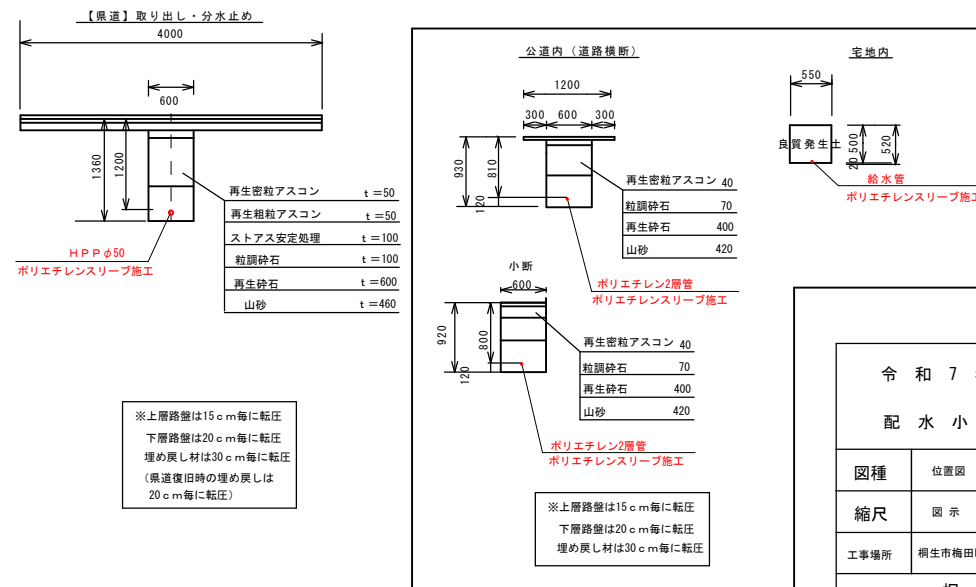
位置図 S = 1/2,500 (A2)



標準断面図 S = 1/50 (A2)



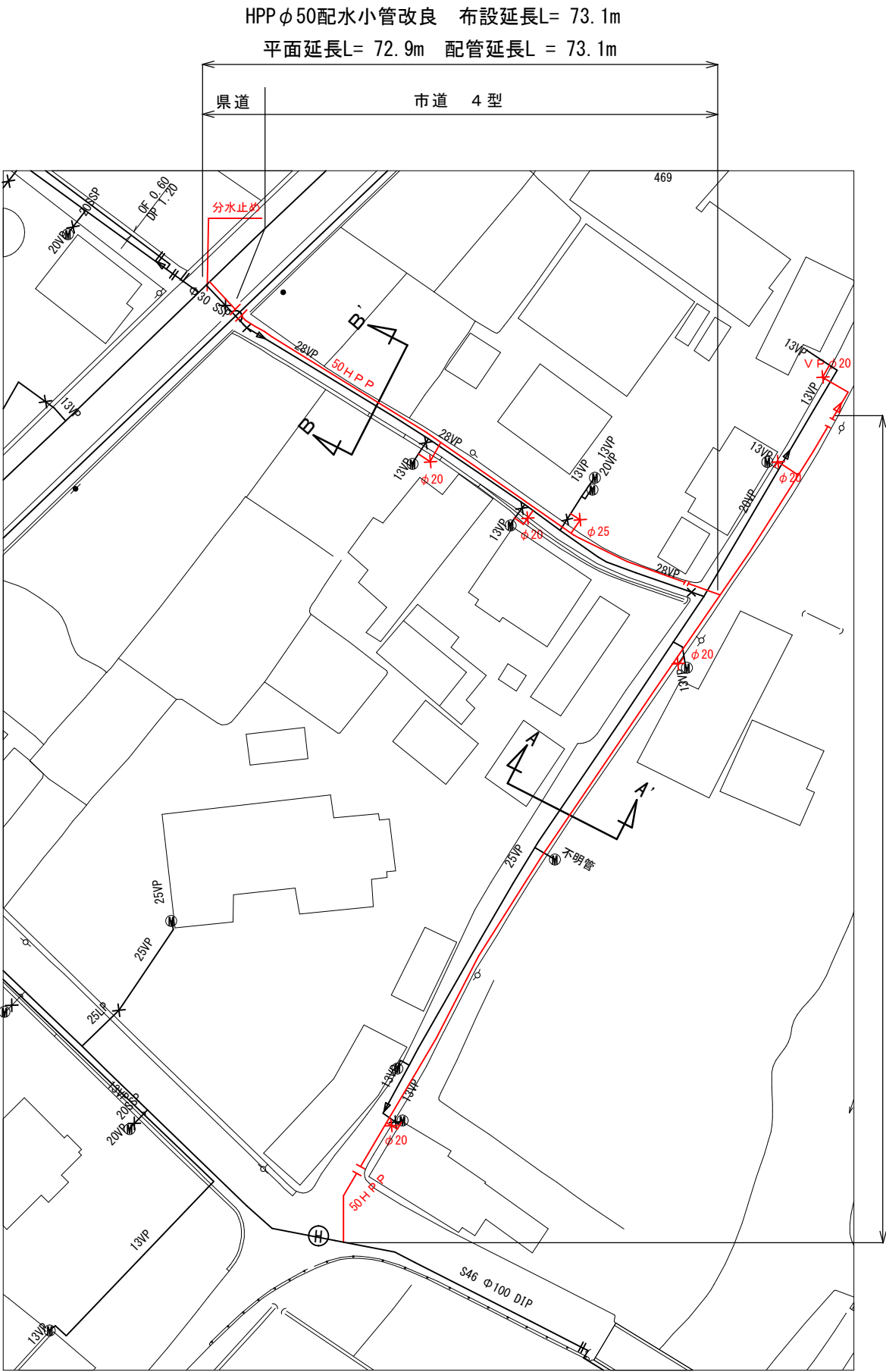
給水管復旧断面図 S = 1/50 (A2)



令和7年度第121号
配水小管改良工事

図種	位置図 断面図		
縮尺	図 示	番 号	全 2葉の内
工事場所	桐生市梅田町二丁目地内（中屋橋付近）		
桐 生 市 水 道 局			
施工業者			

平面図 S = 1/500



HPP φ50配水小管改良
布設延長L= 123.2m 平面延長L= 123.0m 配管延長L = 123.2m

配管図 S = free

